

## 令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (令和7年度定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程学習指導	①個別最適な学習や多様な進路選択に対応できるよう、教育課程を編成する。 ②生徒が自ら学ぶ意義を客観的に捉える力を高め、「探究力」を育成する。 ③生徒一人ひとりが意欲的に取り組める行事・特別活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	①生徒のキャリア実現を支援する教育課程を整備する。 ②生徒自身が単元で身につける資質、能力を意識する授業を展開する。 ③生徒一人ひとりが意欲的に参加する行事・特別活動等を実施し、主体的に行動する力とともに協働する力の伸長を図る。	①教科横断的な授業や長期休業中の講習の実施を呼びかけ、生徒の主体的な学びを支援する。 ②教職員向けの授業研修会を年3回以上計画的に実施する。 ③行事・特別活動等の実施の際には、生徒会本部役員や委員会・部活動等の生徒と意見交換を重ね、生徒自らが主体的かつ協働的に行動する機会を積極的に設ける。	①長期休業中の講習の受講率が向上したか。 ②「生徒による授業評価」の分析を基にした、研究授業の結果が向上したか。 ③行事前に生徒会本部役員や委員会・部活動等の生徒と取組について、事前打合せを行い、生徒の意見をどの程度反映させることができたか。 ④行事後にアンケートを実施し、生徒の満足度を調査する。8割以上の満足度が達成できたか。
2 生徒指導・支援	①行事・部活動等を通して、「協働」の精神の涵養を図り、自己及び他者を尊重する態度を養う。 ②地域とかかわり、地域から愛され、信頼される生徒を育成する。 ③個に応じた教育相談体制の充実を図る。	①持続可能な行事・部活動の運営体制を整備し、生徒の主体的な活動を通じ、自己及び他者と協働して取り組む姿勢を養う。 ②生徒の自己肯定感を高めるとともに、基本的な社会規範を尊重する態度の定着を目指し、組織的かつ継続的に指導を行う。 ③「かながわ子どもサポートドック」及び相談箱の利用などをとおして、効果的に相談ができるよう取り組む。	①生徒・教員と丁寧にコミュニケーションを取り、行事や部活動等に積極的に参加できる仕組みを構築する。 ②掲示物やHRなどで、貴重品の管理等日常生活の注意点を周知するとともに、頭髪や服装なども定期的に指導を継続する。 ③学年ごとに生徒の情報交換を密に行い生徒の実態を把握することにより、適切な対応に努める。	①部活動加入率や、部活動の参加継続率の向上を図ることができたか。また、地域と連携した行事を実施できただか。 ②基本的な生活習慣の定着を図ることができたか。自立した高校生としての自覚を促し、生活面での指導対象者の減少につながったか。 ③生徒からの相談に十分に対応し、生徒の困り感の具体的な改善につながったか。

視点	4年間の目標 (令和7年度定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
3 進路指導・支援	<p>①自己と社会を見据え、社会に求められる力を育むためのキャリア教育の確立を図る。</p> <p>②生徒の第一志望実現に向けた、進路支援の確立を図る。</p>	<p>①地域の人材を含む外部の教育力を活用した授業等を充実させ、生徒が自己と社会を深く理解し、主体的に地域課題や自己の課題を探究しようとする態度を育成する。</p> <p>②卒業後の自己の生き方なり方を具体的にイメージした進路実現を果たせるよう、教員全体で共通性のあるキャリア支援を実施できるよう支援する。</p>	<p>①3年間を見通した総合的な探究の時間の計画策定を基に、より深い地域との関係性を構築した授業展開と、外部講師の適正かつ豊富な利用機会を設ける。</p> <p>②外部講師等を積極的に活用し、生徒・教員に向けた情報発信の機会を設ける。</p>	<p>①「総合的な探究の時間」を計画に沿って実施し、外部の教育力の活用を推進できたか。</p> <p>②長期休業中のキャリア育成講座数を昨年度より多く開講できたか。</p> <p>③外部講師等を活用した情報発信の機会を設け、充実した内容の講座を展開できたか。</p> <p>④⑤総合的な探究の時間の生徒アンケート結果を全学年で上昇させることができたか。</p>
4 地域等との協働	<p>①地域との交流や活動を積極的に行い、生徒が主体的に活動する場を提供し、地域とかかわる力の育成を図る。</p> <p>②学校運営協議会等を活用し、地域に開かれた学校づくりに取り組む。</p>	<p>①より多くの生徒が地域との関わりを感じ、地域との関わりの場面を増やす。関わりから得た経験と学びを振り返りができるように指導していく。</p> <p>②協議会等から得た学校の課題や評価を全職員と共有し、よりよい学校運営を行う。</p>	<p>①ボランティアやST、部活動などグループの壁を越えて多くの生徒が地域交流の場面を実感できるように支援していく。それぞれの場面でフォーム等を使用し振り返りの時間を設ける。</p> <p>②職員会議や各グループにおいて協議会情報の共有を積極的に行う。</p>	<p>①フォームやアンケートを通して生徒一人ひとりが関わりや学びを実感できることを確認することができたか。</p> <p>②各グループ業務を確認し協議会で得た情報との関わりを分析し達成度と課題をまとめることができたか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>①教育環境の変化に対応し、適切な設備・備品管理や環境整備等に取り組む。</p> <p>②生徒・職員の防災意識の向上を推進し、地域に開かれた学校として連携を図る。</p> <p>③職員の事故・不祥事防止に努める。</p>	<p>①教育環境及びICT機器の管理や整備等について、安全面からも工夫を図る。</p> <p>②教育活動全体をとおして防災教育を実施し、地域や教科等と連携を図る。</p> <p>③教育への信頼と生徒たちの安全・安心を守るために、職員の認識を深める。</p>	<p>①教職員の働き方改革の推進に伴い、教育環境等の管理・整備に取り組む。</p> <p>②地域や教科と連携した防災訓練や、ICT機器を利活用して防災教育等を実施する。</p> <p>③事故・不祥事防止研修を、適切なテーマで実施する。教職員の人権研修を計画・実施する。</p>	<p>①ICT機器等の管理や設備等の整備に取り組めたか。</p> <p>②SDGsの観点から教育環境等の適切な整備を推進できたか。</p> <p>③地域や教科と協働して防災訓練や防災教育に取り組むことができたか。</p> <p>④事故・不祥事防止研修を年3回計画し、実施できたか。</p>